

特集

思わず遊びたくなる芝生の空間 市内高等学校2校がコラボ開催！

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、市内にある2つの高等学校の生徒がコラボして開催した「みんなのアンビバ&小さな収穫祭」取材しました。コラボイベントを開催した生徒の皆さんに聴きました。

「みんなのアンビバ（常葉大学附属菊川高等学校）&小さな収穫祭（静岡県立小笠高等学校）」

イベントの企画から開催までの想いや内容は？

みんなのアンビバ

・「子どもの心を大切に」をコンセプトとして、作る楽しみや見て楽しむイベントを企画しました。子ども達と一緒に自らも楽しめるふれあいの場となればという思いで企画しました。
具体的には

- ・ マーブリング
 - ・ どんぐり独楽作り
 - ・ トリック・アート（浮き上がって見える）
 - ・ とんとん相撲（折り紙・着色）
- などに取り組みました。

小さな収穫祭

・ お茶の試飲や販売、茶の実の油から作ったお茶石鹸を作ってお茶の良さをPRしました。また、お茶を使ったパウンドケーキやクッキー、花の販売を企画しました。



活動して苦労したことや良かったことは？

みんなのアンビバ

・ 子ども達に喜んでもらえるには、どのような色彩にしたら良いかなど子どもでも簡単にできる方法を考え出すのに苦労しました。
・ アートの体験を通じて、子ども達から「きれいにできた」「楽しかった」という言葉をもらいました。グループ全員で協力して取り組めチームの輪が強くなったと思います。
・ 後輩と準備の時間を合わせることが難しく、協力できるように時間を調整することに苦労しました。

小さな収穫祭

・ 小笠高等学校は総合学科のため、様々な系列に分かれています。私は商業系なので、お茶や野菜の栽培について一から学ぶことから始めたため、とても苦労しました。
・ お茶の作り方や種類、旨味の違いなどについて、お客様から「わかりやすい説明だった」と言って購入していただいた時は、努力が報われたと感じました。

